

第18回 檜山純三賞 募集要項

1. 趣旨

公益財団法人檜山奨学財団は、昭和52年（1977年）に意欲ある社会有用な人材の育成を目的に設立された奨学財団です。設立者檜山純三は財団設立当初から国際社会の情勢を的確に捉え、それらに対処できうる人材を一人でも多く育成する事が大切だと考えていました。檜山純三賞はその遺志を現代に活かすものとして、財団設立30周年を記念して平成18年度（2006年）に新設しました。国際的視野にたった社会有益な図書を表彰し、その業績を一層広く世に知らしめる事を通じて、上記のような人材育成に資する事を目的にしており、今年度は第18回となります。

2. 表彰の対象

21世紀初頭における国際社会の安定と進化にとって、アジアとの共生が大切である事に鑑み、現代アジアについて独創的で優れた図書の著者へ授与します。

（1）学術書

社会科学（政治・経済・社会・歴史等）の分野の現代アジア研究に関する研究書で、2022年4月1日から、2023年6月30日までに日本国内で発行された図書。（なお現代とは、20世紀初頭より今日までとします。）

（2）一般書

現代アジアに関する社会有益な一般書で、2022年4月1日から、2023年6月30日までに日本国内で発行された図書。（なお現代とは、20世紀初頭より今日までとします。翻訳書は除きます。）

（1）、（2）とも候補者の国籍、年齢は問いません。

3. 檜山純三賞の内容

原則として、毎年（1）学術書1件、（2）一般書1件の計2件とし1件につきそれぞれ賞状、楯および副賞（賞金1,000,000円）を贈呈します。

また株式会社オンワードホールディングスよりオンワード賞（高級スーツ1件につき1着）が贈呈されます。

4. 推薦および応募方法

- ① 図書の推薦または自薦による応募とします。
- ② 指定の応募書類に必要事項を記入の上、期日までに檜山奨学財団事務局宛に郵送してください。提出された書類は個人情報の保護に関する法令に基づいて厳重に取扱います。

なお原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

③ 推薦・応募締め切り期日

2023年6月30日(金)

5. 選考方法

授賞対象について下記の委員からなる選考委員会が厳正な選考を行い決定します。

<選考委員>

川島 真 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

末廣 昭 (学習院大学国際社会科学部教授・東京大学名誉教授)

千野 境子 (産経新聞社客員論説委員)

波多野 優子 (公益財団法人榎山奨学財団理事)

若林 正文 (前早稲田大学政治経済学術院教授・東京大学名誉教授)

渡辺 利夫 (拓殖大学学事顧問・前拓殖大学総長・東京工業大学名誉教授)

敬称略・五十音順

6. 選考結果の通知

選考結果は受賞者・推薦者及び応募者に対しては2023年9月下旬に文書により通知し、また2023年10月初旬に公表を行います。

7. 第18回榎山純三賞の贈呈式

2023年11月8日(水)に開催する予定です。

(ご多忙な時期に恐縮ですが、贈呈式には受賞者ご本人が必ず出席くださいますようお願いいたします。)

8. 推薦・応募書類送付先・問い合わせ先

■推薦・応募書類 送付先

〒103-8239

東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング
公益財団法人 榎山奨学財団事務局 第18回 榎山純三賞 宛

■問合せ 公益財団法人 榎山財団事務局

電話：03-4512-1062 Fax：03-4512-1063

E-mail：jimu@kashiyama-sf.com

HPアドレス：<http://www.kashiyama-sf.com/>